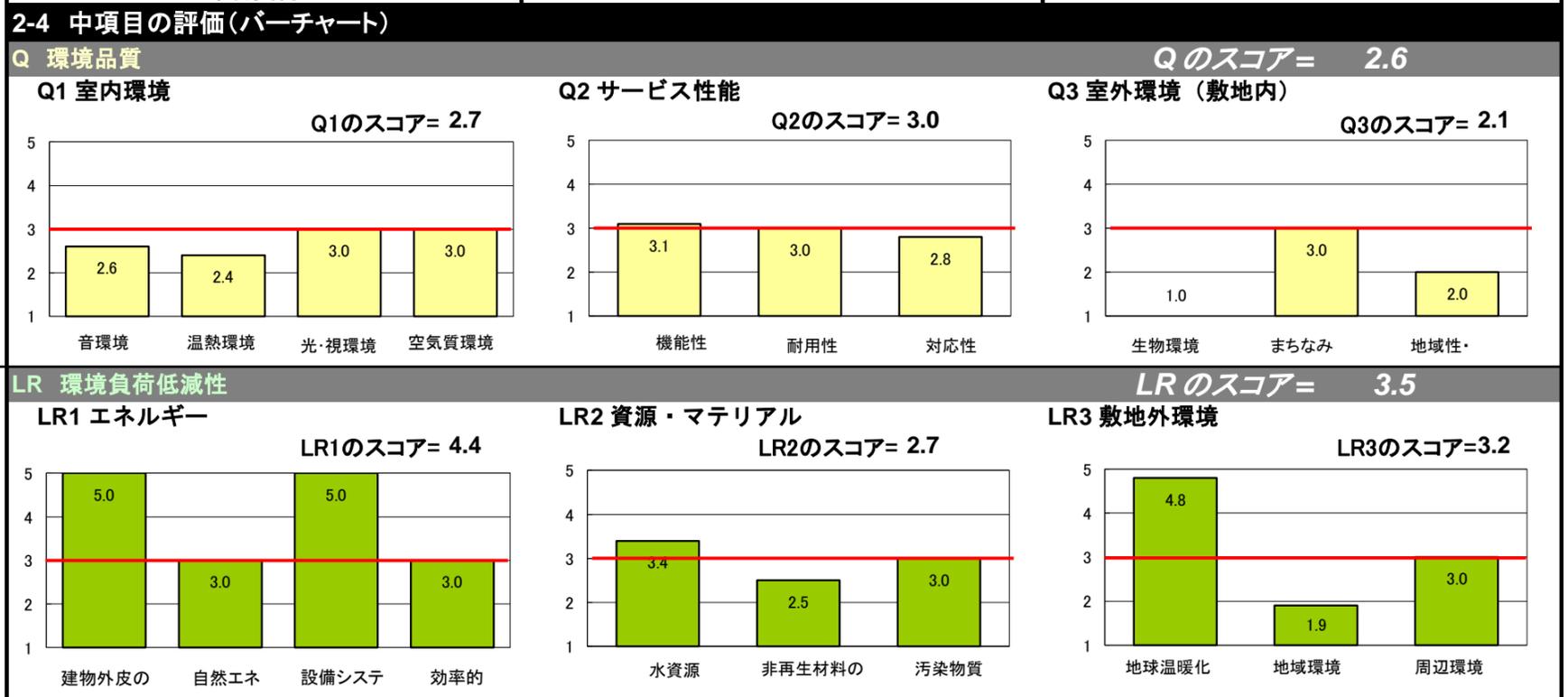
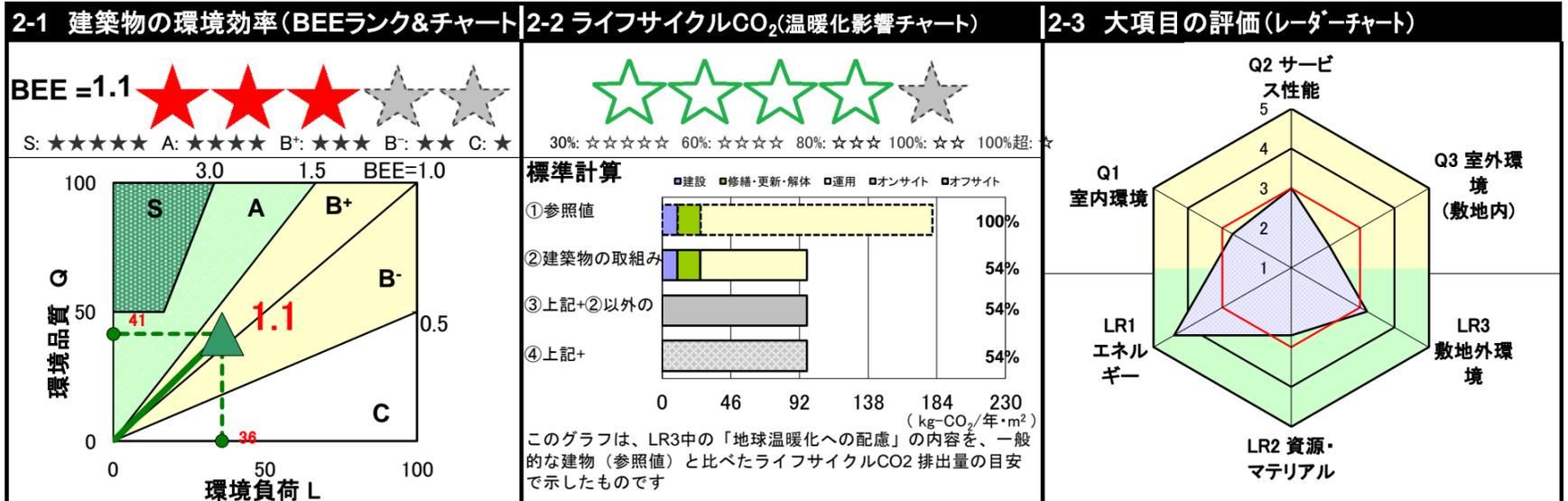


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.1.0)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-----------------------|--------|------------|
| 建物名称 | 医療法人養和会新西棟改築工事 | 階数 | 地上4F |
| 建設地 | 鳥取県米子市上後藤3-5-1 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 都市計画区域内市街化区域 | 平均居住人員 | 70 人 |
| 気候区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 8,760 時間/年 |
| 建物用途 | 病院 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2015年5月 予定 | 評価の実施日 | 2014年6月23日 |
| 敷地面積 | 19,889 m ² | 作成者 | 山崎倫子 |
| 建築面積 | 1,179 m ² | 確認日 | 2014年6月24日 |
| 延床面積 | 3,711 m ² | 確認者 | 羽子田靖彦 |



| 3 設計上の配慮事項 | | |
|---|--|--|
| 総合 注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 設備システムの高効率化を図り、エネルギー使用量の削減に努めている。 | その他 注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。 | |
| Q1 室内環境 注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ゾーンごとにパッケージエアコンを採用。 ベッド単位で照明の制御が可能。 | Q2 サービス性能 注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 入居者・職員が満足できるよう、十分なスペースを確保している。 | Q3 室外環境(敷地内) 注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 既存建物や景観に調和したデザインとしている。 |
| LR1 エネルギー 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 外気に接する外壁・屋根に適切な断熱材を施して外皮性能に配慮。 | LR2 資源・マテリアル 注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 自動水栓・節水型便器を採用し節水に努めている。 | LR3 敷地外環境 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ライフサイクルCO ₂ 排出率が54%となっている。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される